

計画概要

地場産業(安田瓦)を活かした、

①産業観光の推進、②地場産業関連事業所への就労促進、③新たな商品開発による地場産業の売上増加、④その取り組みを持続させる人材育成と環境づくりにより、交流人口の拡大、新たな事業展開による魅力ある地場産業の創出を実現させ、社会人口減少に歯止めをかけます。

(地方創生推進交付金事業:補助率1/2)



【解決すべき課題】

- ☞ 地場産業の魅力を効果的に情報発信できていない
- ☞ 瓦の用途が限定されている
- ☞ 就労を希望する市民へ地場産業関連事業所の魅力を伝えられていない

にぎわいの
創出

【目指す将来像】

- ☞ 交流人口の拡大
- ☞ 新たな事業展開による魅力ある地場産業の創出

実施内容(総事業費140,500千円)

事業名	事業内容				事業費 (千円)
	概要	R3	R4	R5	
安田瓦体験型産業観光施設整備事業	地場産業の情報発信、新たな商品開発、学生の課外授業・教育旅行の受け入れ、AIを活用したオンデマンドバスの運行などの取り組みを効果的に行うために整備する。	実施設計	施設整備	備品購入	111,000
地場産業人材育成事業	歴史的建造物やモニュメントなどへ案内し、地場産業の歴史や技術を説明する案内ガイドを育成する。	人材育成プログラム策定、セミナー、先進地視察、	講座、勉強会		1,500
ヤキモノ体験・プロモーション事業	ヤキモノ(安田瓦、陶器、陶管など)を使用した体験コンテンツや販売促進に向けたパンフレット、ロゴデザイン、イメージムービー等の制作を行う。	現状調査、意見交換会	ロゴデザイン・イメージムービー等制作	HPリニューアル(予約システムの導入)	9,700
ヤキモノを使用した新商品試作・実証事業	異業種企業と連携し、新たな商品開発として、試作品づくりを行う。		市場調査、商品企画	新商品のブランディング(商品名やデザインなど)・販路開拓	7,000
地場産業関連事業所への就労促進実証事業	地場産業関連事業所の取り組みを市内外へ情報発信する。		紹介動画制作	出張授業、教材制作	7,000
2次交通実証事業 (AIによるオンデマンド市営バス拡大事業)	1台の車両を確保し、AIを活用したオンデマンドバスを実証運行させ、2次交通を確保できるか実証する。市営バスのバス停を乗降場所とし、経路はAIが検索した自由経路とする。			バス1台を平日及び休日に運行する(3か月)	4,300

数値目標(KPI)

項目	事業開始前 (現時点)	1年目 (R3年度増加分)	2年目 (R4年度増加分)	3年目 (R5年度増加分)	4年目 (R6年度増加分)	5年目 (R7年度増加分)	KPI増加分の 累計
やすだ瓦ロード入込客数(人)	34,289	500	500	6,000	1,500	1,500	10,000
安田瓦年間出荷枚数(枚)	3,783,058	10,000	10,000	10,000	20,000	50,000	100,000
安田瓦職業訓練校入校生数(人)	5	1	1	2	2	2	8
安田瓦関連の新商品創出件数(件)	0	0	1	2	2	2	7